

会 員 団 体 各 位

日本社会人団体馬術連盟
会 長 山 口 昇

馬術セミナー開催のお知らせ

貴団体におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平成 29 年度本連盟主催による馬術セミナーを下記の通り開催いたします。今回は今までと少し趣向を変え、雑誌「UMA LIFE (馬ライフ)」で本連盟の大会も取材いただいているプロカメラマンの太田宏昭氏にお越し頂き、馬の写真を撮影する際のテクニックや、10 年間のばんえい競馬に関する撮影秘話など、馬に関わる写真撮影について太田氏の活動内容を含めご講演頂きます。騎乗のレベルに係らず馬が好きな方ならどなたにも楽しんで頂ける企画ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。

記

1. 日 程： 平成30年3月21日(水：祝日) 15時～16時30分(受付開始 14時30分)
※セミナー後に懇親会(17:30～予定)を予定しております。ご希望の方は申し込み用紙にその旨記載下さい。別会費になります。
2. 会 場： 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 510
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL：03-3469-2525(代表)
*当日は駐車場の利用はできません。公共の交通機関をご利用ください。
3. 講 師： 写真家 太田 宏昭氏(プロフィール詳細は別紙参照)
4. 開催概要： セミナー内容は別紙をご参照ください。
5. 募集人数： 約 40 名
6. 申込み先： 〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-4 新川エフ 2 ビルディング 6F
日本社会人団体馬術連盟 TEL:03-3297-5630 FAX:03-3297-5636
Eメール shabaren@jbg.jp
7. 申込期日： 平成 30 年 3 月 12 日 (月) 必着
※馬術セミナーの募集人員に余裕があるため、募集期間を延長いたします。
8. 受 講 料： 1,000 円/人(税込)(社馬連会員)
2,000 円/人(税込)(一般)
*受講料は、現地徴収とさせていただきます。
9. 申込方法： 郵送・FAX・Eメールのいずれかにて受講申込書を提出してください。
10. 参加の可否： 締切り後、参加不可の場合のみ連絡担当者宛て通知いたします。連絡がない場合には、直接会場へお越しください。定員になり次第、申込を終了させていただきます。先着順とさせていただきますので予めご了承ください。

以上

別紙

◇セミナー内容 「馬を綺麗に撮影する際の心構えと、デジタル時代における撮影テクニック」

今は誰でも手軽に写真が撮れる時代になりました。馬の好きな方なら、練習や大会に行つて、あるいは旅先で、馬の写真を撮影したことがあると思います。しかし、ただ闇雲にシャッターを押すだけでは、気に入る一枚は簡単には撮れません。スマホの性能もよくなり、スマホでも十分綺麗な写真を撮影することができますが、もっと綺麗で気に入った馬の写真を撮影する際必要な、基本的な撮影に関する考え方や、デジタル時代だからこそできる撮影テクニックについてお話頂きます。なお今回は、一眼レフ、デジカメ、スマホに関わらず役立つ情報となっております。

セミナー最後には、質疑応答の時間も取りますので、普段写真に関する疑問をお持ちの方、プロのカメラマンに直接お聞きできるこの機会を是非ご利用ください。

- ① 太田氏活動内容の紹介
- ② 撮影してみよう！～心構えとテクニック
 - ・馬を撮影する際に決定的に大切なこと
 - ・一步上を行く、写真撮影に必要な基礎知識
 - ・デジタル写真は撮るだけでは完結しない（パソコンで現像しよう）
- ③ 質疑応答

◇太田宏昭氏 プロフィール



愛媛県宇和島市生まれ

中学生の頃、親が姉に買い与えた一眼レフで写真を撮り始める。

大阪芸術大学写真学科卒業、写真家村上ひろし氏に師事。

ほぼ100%ファッションのカタログ撮影の助手を務める。

独立後東京に拠点を移し、カメラマンの助手をした後、雑誌で商品撮影や人物撮影などをする。

家庭画報、婦人画報、サライなどの撮影をする。

能楽師と知り合ったことが縁で能の撮影を始める。

10年程能の撮影をしたころ、JALの機内誌で「ある披き道成寺」という企画が採用され半年間若手能楽師を追って撮影。

その写真などを国際交流基金の援助を受けてリトアニアのユネスコで能写真展「ある披き道成

寺」を開催。

2006年、ディープインパクトの凱旋門挑戦を描いたNHK特集の中でサイレンススズカの話が出て来て、その馬に惹かれ生産牧場を訪ね、馬の撮影をするようになった。

その年の暮れ、北海道のばんえい競馬は存続の危機にあり、開催されていた4都市のうち、旭川、岩見沢、北見が撤退を表明。残された帯広市の判断しだいでばんえい競馬は廃止され、多くの馬たちが処分される寸前だった。

その姿を残したいという思いで帯広に通うことになり、10年間の集大成として、2017年9月30日～2018年1月31日まで、ばんえい競馬の馬たちのルーツ、イレネー号の故郷ペルシュで大規模な写真展「太田宏昭ばんえい写真展・砂の軌跡」を4ヶ月間開催。

2015年から乗馬ライフの撮影を始める。

馬術に関する知識はまったく無かったが、自ら乗馬を始め、馬に乗ること、操ることを自身で体験し撮影に活かす。

<開催場所>

国立オリンピック記念青少年総合センター

<https://nyc.niye.go.jp/>

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1



<最寄駅>

○JR 東京駅から

JR 中央線 約 14 分 新宿駅乗り換え

小田急線 各駅停車 約 3 分

参宮橋駅 下車 徒歩約 7 分

○小田急線

参宮橋駅下車 徒歩約 7 分

○地下鉄千代田線

代々木公園駅下車(代々木公園方面 4 番出口) 徒歩約 10 分